

大学名 宇都宮大学

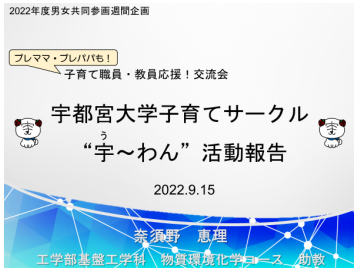
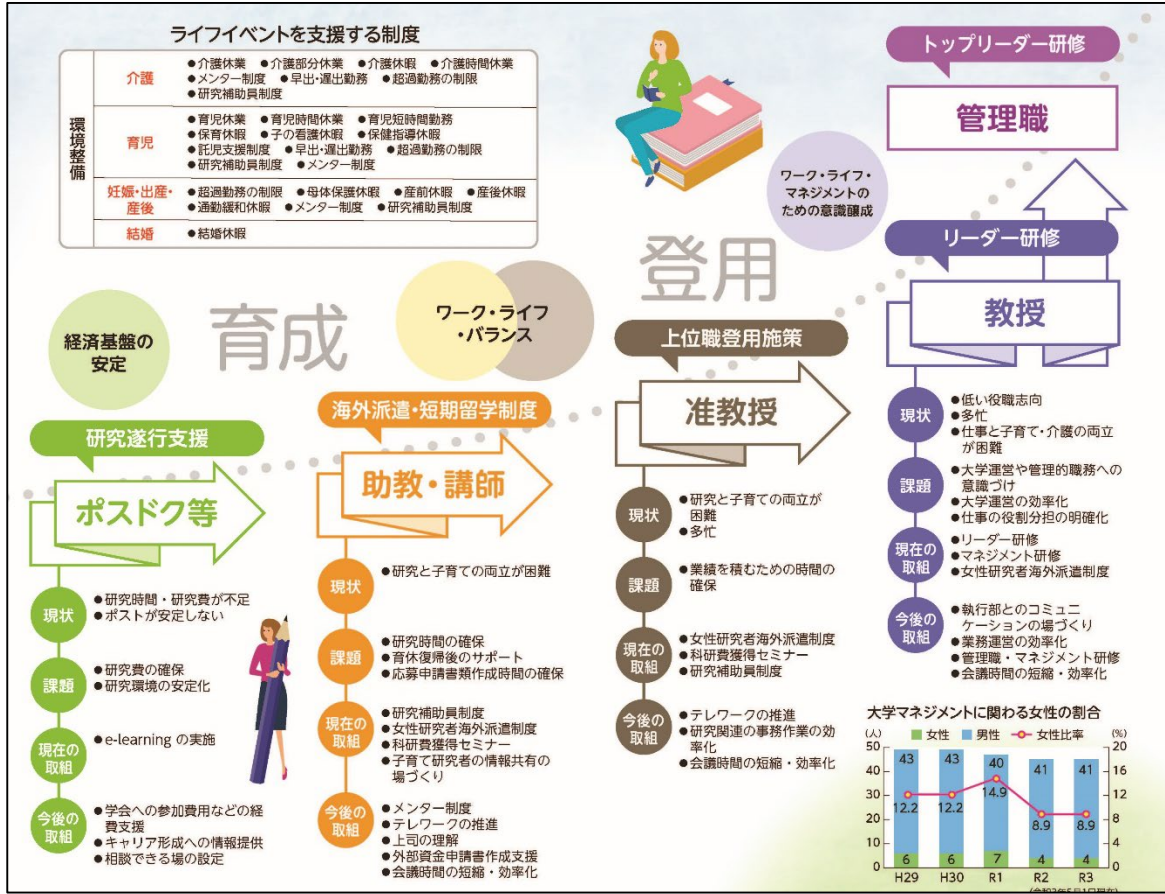
第66号 特集テーマ「女性研究者の育成・活躍」

表題 実態・ニーズに応じた支援による女性研究者活躍の基盤形成:「女性研究者キャリアパスプログラム」

宇都宮大学では、2012年に男女共同参画推進室を設置して以来、女性研究者の仕事とライフイベントの両立支援に取り組み、その結果、女性教員比率は飛躍的に高まった(2012:15.0%→2022:20.2%)。この成果を踏まえ、女性研究者の研究力向上を目的とする施策を展開したが、学内調査の結果、年代・キャリア毎に抱える課題や必要とされる支援が異なっていることがわかった。そこで「女性研究者キャリアパスプログラム」を作成し、大学院生から管理職までのキャリア段階に応じた現状と課題、ならびに無理なくキャリアアップを図れるための今後の取組みを洗い出し、リーフレットを作成して全学に展開した。

若手は研究時間不足や子育てに厳しい職場環境、中堅は業績向上のための時間不足、教授層は大学経営への無関心など各々に特徴的な課題が顕在化し、それらに焦点化した施策に取り組んでいる。特に若手理系女性研究者の研究環境改善への要望は強く、学部を超えた自主サークルが立ち上がり、推進室教員のサポートの下で活動を行っている。情報共有から、働く環境を自身で改善していける話し合いの場へと発展してきており、産休育休に関するマニュアル作成やお役立ち情報の発信、また研究室・学科等の運営改善や男性の意識改革を求める提言を大学に向けて行うなど成果が積みあがっている。現在、全学的ネットワークを進めており、こうした現場の声にきめ細かく対応することが働きやすい環境づくりにつながるとともに、女性研究者活躍の基盤形成の役割を果たしている。

「女性研究者キャリアパスプログラム」抜粋



男女共同参画週間での子育てサークルの発表の様子